



川上きし製作「いろは額」(縦93cm×横188cm)

阿毘縁小学校蔵

小学校所蔵資料調査で確認された扁額。明治42(1909)年の阿毘縁小学校校舎竣工記念として、同校訓導川上きしが作製した押し絵である。一文字ごとに物語が添えられ、かな文字指導の教材として使用されたという。残念なことに、物語は伝わっていない。県内に残る明治時代の教材・教具が皆無に近いなかで、「いろは額」は貴重なものといえる。



旧大山村役場資料

大山町蔵

先の大戦に直接かかわる公文書は少ない。同村では、これ以外にも、「大政翼賛会関係綴」、「国民勤労動員関係綴」、「軍事奉公会関係綴」、「時局関係綴」等が残存している。

(安藤 57頁)



佐治村文書館

04.12.8撮影

「公文書の安全かつ適正な保管及び保存を図る」目的で昭和62年7月に開設された。県内で最も早く「文書館」の名を冠した施設である。保存資料は、藩政時代から今日に及ぶ。